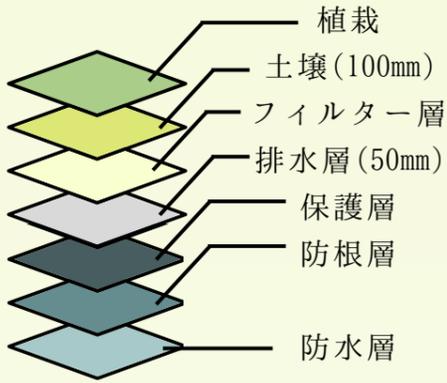


斜面に寄り添い、

大地と融合する住まい。

設計主旨:豊かな自然の息吹を感じるために、斜面の地形そのものを住空間に取り込んだ。自然を生かし、自然と共に生活することをイメージし、まるで大地から生えたかのように屋根の輪郭は斜面のラインと融合させた。余すことなく自然の恩恵を享受するために、屋根の上は自由に歩くことができるようになっている。

模型材料・模型材料費:厚紙、竹串、合計340円



緑化の構造
(芝生)

屋根を緑化することは、建物劣化の原因となる急激な温度変化による膨張や収縮を抑え、紫外線や酸性雨によるダメージを低減する。緑化をすることで結果的に建物の耐久性が増し、建物を保護することができる。

よって、夏場は熱が建物内に入るのを抑え、冬場は熱を外に逃さないため空調の消費量を抑制することができる。

植物の蒸散効果(葉から水分を蒸発を発生すること)によって、周囲の空気を冷やす効果もある。

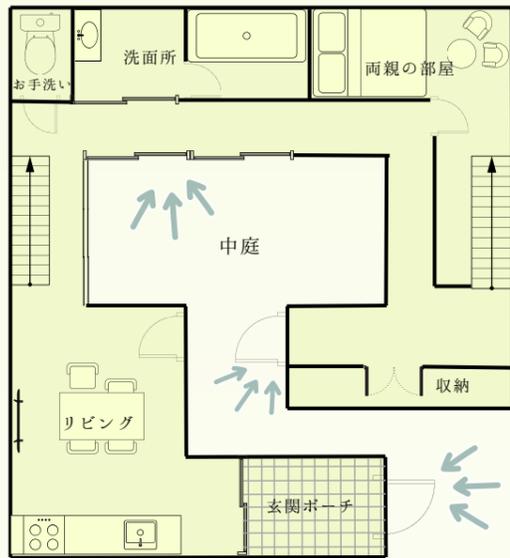
緑化に適した芝生

コウライシバ:メンテナンスがしやすい。ゴルフ場で使用されるほど踏み圧が強い。

ノシバ:寒さにも暑さにも強く、気温差の激しい環境でも安定して成長できる。

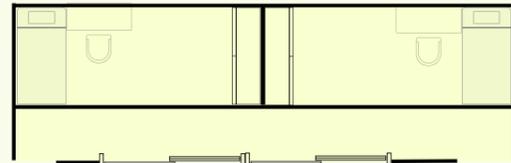
タマリユウ:芝の育たないような日陰でもよく育つ。

ヘデラ(アイビー):ツル性なので壁に伝すことができる。日陰に強く、育てやすい。



一階平面図

玄関は来客者から中庭が見えないようになっていて、プライバシーを確保できる。



二階平面図

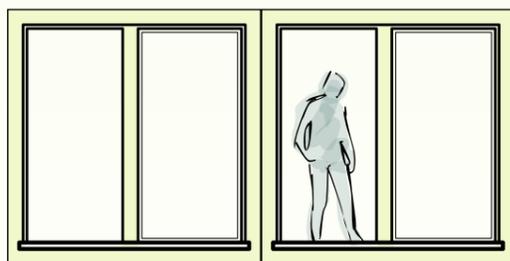
2階も中庭を見渡すことができる大きな窓が付いている。二つの子供部屋があり、それぞれの空間を楽しむことができる。

入り口は玄関だけでなく、リビングとリビングの反対側にもあり、どの部屋にもアプローチしやすくなっている。

一階は、中庭を囲むような形になっている。中庭に隣接する壁は、ほとんどガラス張りの窓になっており、家の中にいながらも開放感のある暮らしができる。

2階からでも、家にいながら子供を見守ることができる。

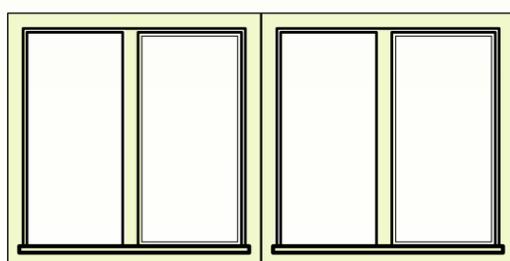
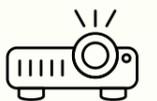
干渉しすぎず適切な距離を保つことで子供の成長を促せる。



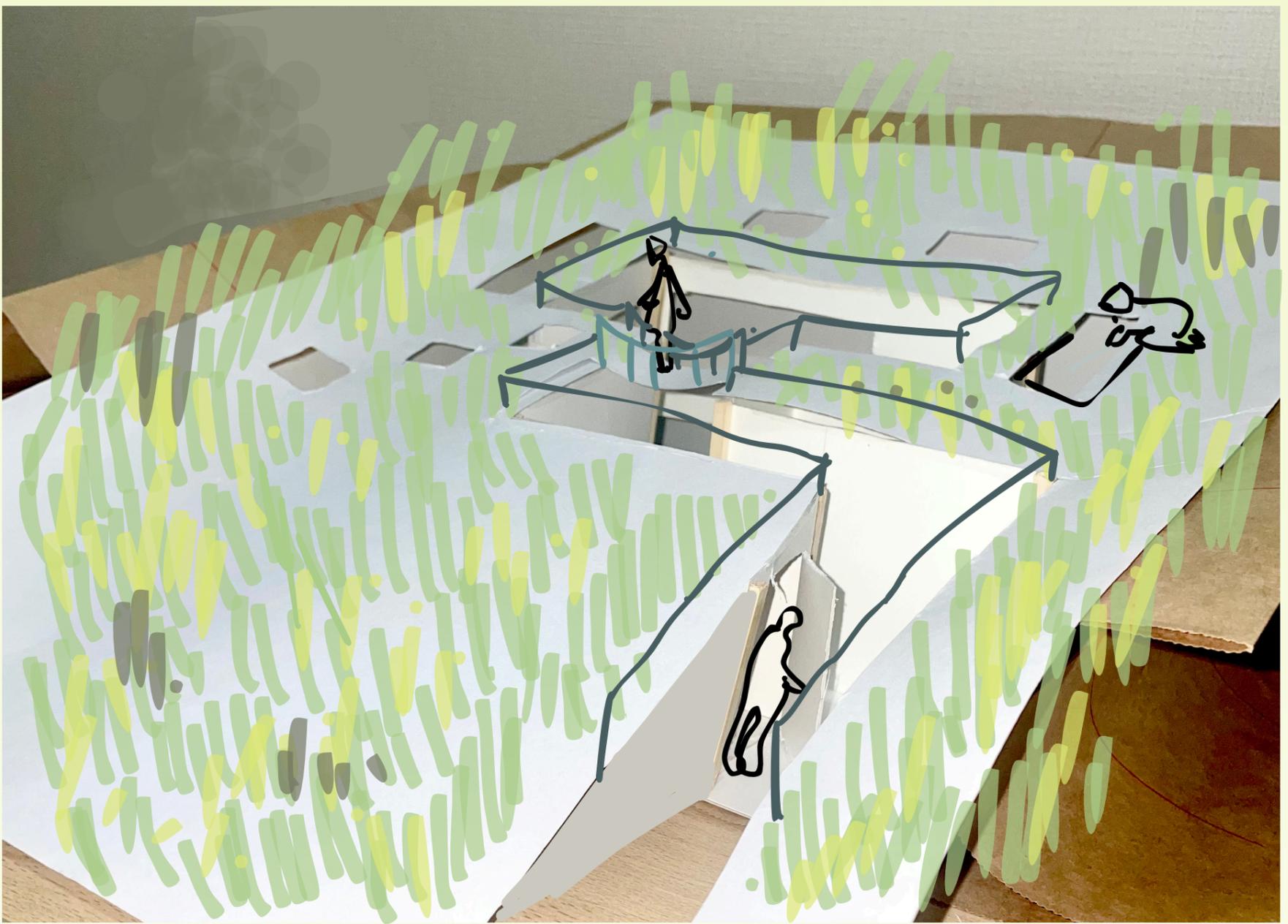
中庭断面図

一階の窓を開けて入ると直ぐに浴室に行くことができるので汚れてしまっても安心。

中庭では、BBQをしたり壁が白いことを生かしてプロジェクターで映画を見たりすることができる。



屋上は山の斜面に沿ってなだらかに広がっており、敷地の境目が山に溶け込むようになっている。



屋根緑化:敷地外と区別がつかないよう山に馴染んでいる。
 高い部分には柵がわりの手すりが付いている。壁から光を取り込める量が少なくなってしまうため、屋根に多くのガラス穴が開いていてそこから光を集めている。



中庭でBBQをしている様子

地域の人を呼んで集まるのに十分な空間がある。山の中は静かで、誰にも邪魔されない場所になる。



住んだ場合の動線

まず、帰ってきたら家族が集まるリビングを通り自分の部屋に向かう。
 部活動があって直ぐにお風呂に入りたい日には、リビングを抜けてお風呂へ...という動線が綺麗にできている。